

生きもの豊かなたんぼ

[水田目標 1, 5, 7, 8, 12, 14]



平成25年8月24日

株式会社アレフ ふゆみずたんぼプロジェクト

橋部 佳紀

1. 株式会社アレフ 会社概要

創業年月：1968年12月

本社：札幌市白石区

売上高：357億円(2013年3月期)

事業内容：ハンバーグ限定ファミリーレストラン「びっくりドンキー」
イタリアンレストラン「ペペサーレ」など
約300店舗を展開(2013年7月現在)



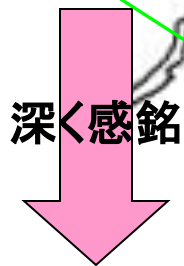
びっくりドンキー 盛岡インター店



2. ふゆみずたんぼプロジェクト きっかけ



ラムサール条約の第9回締約国会議(ウガンダ)で「蕪栗沼・周辺水田」が国際的に重要な湿地に登録(2005年11月)。



取組を始めるきっかけの1つ



←ペクルニイ湖(繁殖地)

←ハルチンスコエ湖(中継地)

← マガンの渡り経路

←宮島沼(中継地)

←蕪栗沼、伊豆沼(越冬地)



2. ふゆみずたんぼプロジェクト発足(05. 9)

ふゆみずたんぼプロジェクト

①実践

デモンストレーション
田んぼ(恵庭)

- ・社員教育
- ・地域への貢献
- ・稲作文化の再現
- ・実証田

②普及

道内農家との連携

- ・実際のフィールドでメカニズムの解明
- ・北海道版環境共生農業モデルの確立

(「ふゆみず」とは限らない)

③調達

- ・本業を通じた環境共生農業と自然再生への貢献

(2009年、「生きもの豊かな田んぼ」として取組スタート)

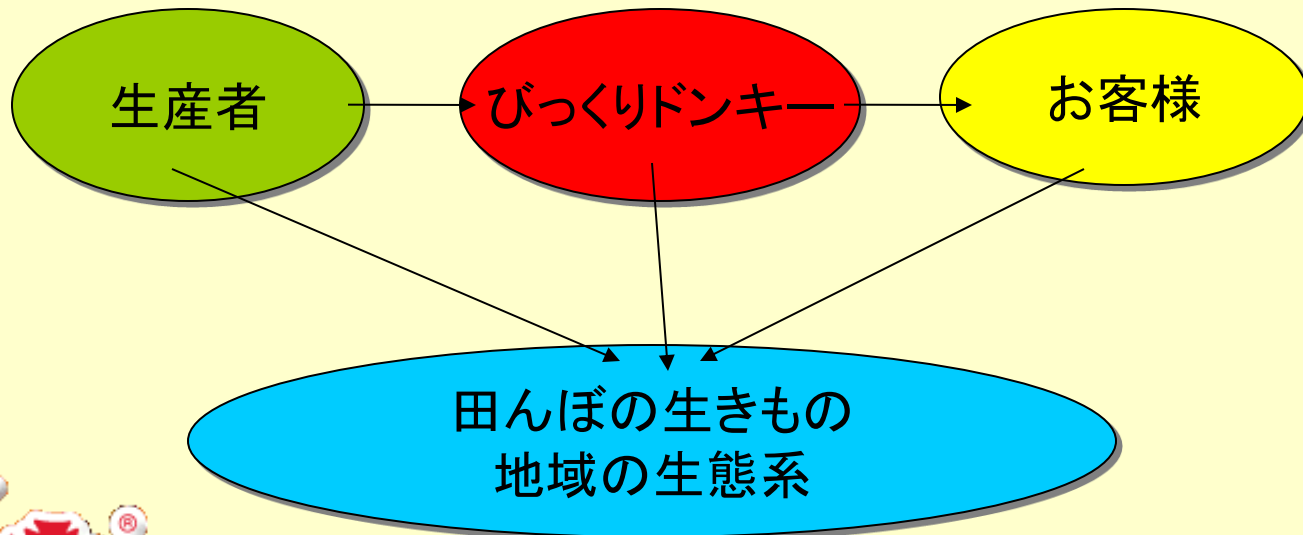
3. 「生きもの豊かな田んぼ」の取組

これまでの「アレフ省農薬米」「環境保全型」「ふゆみずたんぼ」の取組から、「**生物多様性**」をキーワードに、さらに進化した取組を目指し、2009年スタート。

【イメージ】「びっくりドンキーでお食事をしていただくことで、水田を中心とした地域の生きものの暮らす環境も守られる」

【目標】生物多様性条約COP9の「リーダーシップ宣言」に適合する目標として、お米に関して、以下を目標とした。

2011年(平成23年産)に100haの「生きもの豊かな田んぼ」



3. 「生きもの豊かな田んぼ」の取組

「生きもの豊かな田んぼ」の基準：

1. 化学合成農薬、化学肥料を使用しない栽培
2. 生産者自身が田んぼの生きものを調査
3. 田んぼの生きものに配慮した取組（ふゆみずたんぼ、魚道、ビオトープ etc.）



3. 「生きもの豊かなたんぼ」の取組

びっくりドンキーへの導入

2009年産 10ha分

2010/4/1～ 期間限定、全国16店舗へ導入

2010年産 55ha分

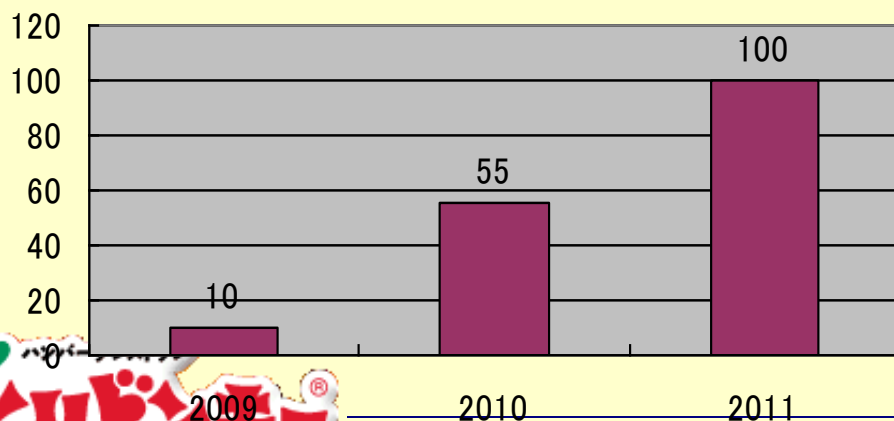
2011年5月～ 全国14店舗に通年導入

2011年産 100ha分(作付目標を達成)

2012年4月～ 通年導入22店舗に拡大

2012年度はライス年間約400万食を提供

面積(ha) 「生きもの豊かなたんぼ」の作付面積



3. 「生きもの豊かな田んぼ」の取組

今後に向けた課題 ①

- ・従業員理解
- ・生産者の理解
- ・有機栽培技術の確立



3. 「生きもの豊かな田んぼ」の取組

今後に向けた課題 ②

- ・お客様への訴求

